

## 孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援に関するヒアリング概要

### ○ ヒアリング先

- ・ 高齢者施設
- ・ 障がい者施設
- ・ 精神科病院
- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 高齢者生活支援センター
- ・ 障がい者相談支援事業所

### ○ ヒアリングにより聞き取ったこと

#### (障がい者施設等)

- ・ 障がい者施設では意思決定支援が課題。
- ・ 身寄りはあるが、親が高齢のため振込を忘れてたり、手続きができなかったりする。

#### (高齢者施設等)

- ・ 身寄りがおらず、ケアマネジャーが医療同意や入院手続、金銭の出金・支払いなど職域を超えて業務を行っている。
- ・ 困ったことがあった際に相談先がわからず、高齢者相談支援センターや行政等に相談するも、「ケアマネジャーがいるのなら。」と言われ、不安に思いながら支援をしている。
- ・ キーパーソン（介護者）が40～50代の無職で地域との関わりがない息子というケースの場合、介護が終わった後のことも考えて支援につなぎたいと思うが、本人の介護という面で大きな役割を担っているところもあり、難しさがある。

#### (精神科病院)

- ・ 病院のケースワーカーが医療同意や転院、入所の手続き、金銭管理（出金や支払い）など多岐にわたった業務外の仕事をしている。
- ・ 長期入院している方も地域移行を目指す、病院の外に出ることを怖がり、本人の生活環境を変えることが難しい。
- ・ 入院中も、密な関係でなくてもいいから誰かが継続して関わってほしい。
- ・ 地域の精神疾患の方への理解が今より広まってほしい。